

リガクが、新タグラインを発表 ~POWERING NEW PERSPECTIVES~

X線分析装置および検査装置のリーディングカンパニーである株式会社リガク（本社：東京都昭島市、代表取締役社長：池田俊幸、以下「リガク」）は、70年にわたり世界の科学コミュニティにイノベーションをもたらしてきましたが、このたび新たなスローガンを掲げた分析機器市場への対応を発表しました。

創業以来、リガクは国内外のグループ会社とともに最先端の研究開発を行い、X線分析や熱分析を中心とした分析機器を開発、製造して参りました。これらの機器は、創薬、先端材料、新製品開発などの重要な研究分野において、貴重な知見をもたらすデータを生成しており、「科学技術の進歩を通じて人類社会の発展に貢献する」という企業理念のもとで事業を行って参りました。

当社社長の池田俊幸は、「昨年、当社は創立70年を迎え、またカーライル・グループによる資本参加や MILabs 社の買収など、2021年はリガクの歴史上、非常に重要な年となりました。これらの変化は、私たちが新たな視点で優先すべき事項や方向性を見直す機会にもなりました。」とコメントしています。

さらに、「X線分析の専門企業として、当社のミッションは常に、従来技術では見えないものや可視化できないものの「見える化」をお手伝いすることでした。現在、IPOに向けて成長を加速させるための諸戦略を実行しており、これを受けて、これまでのスローガンである“Leading with innovation”を、より目標に沿ったものに変更することに致しました。新しいスローガンは、“To improve our world by powering new perspectives”とし、それに伴いタグラインを “POWERING NEW PERSPECTIVES”に更新しました。」と述べております。



“NEW PERSPECTIVES”は、エンド・ユーザーによる新たな「見える化」手法の発見を支援するというリガクの核心的なミッションを強調するものです。”POWERING”は、X線技術がもたらす物質の内部構造を細部に亘り明らかにする力を意味し、X線回折装置 SmartLab 9kw や放射光施設の能力に迫る電子回折装置 XtaLAB Synergy-ED などに代表される世界最高水準技術により、従来は困難であった構造解析が可能となります。

また、スローガン全体は「To improve our world」という要素も含まれており、当社の技術が科学研究の最前線にいるユーザーの革新的・画期的な新製品開発を支援し、人類の進歩に貢献していることをリガクの社員が認識できることから、大きなモチベーションとなっています。

この新しいスローガンとタグラインに加え、リガクは、革新的な技術を創造し、顧客、株主、ビジネスパートナー、社員、地域社会とともに、地球規模の課題解決に貢献するという決意を込めた新たな企業ビジョンを制定し、その実現に取り組んでおります。

新しいスローガンとタグラインは、2022年9月から世界中のリガク各社で使用される予定です。

リガクの革新的な分析機器の詳細については、www.rigaku.com をご覧ください。

リガクについて

リガクは、1951年の創業以来、分析・工業計測技術の最先端を歩んできました。今日、リガクは、一般的なX線回折(XRD)、薄膜分析(XRF、XRD、XRR)、蛍光X線分析(TXRF、EDXRF、WDXRF) X線小角散乱(SAXS)、タンパク質・低分子X線結晶構造解析、ラマン分光、X線光学、半導体計測(TXRF、XRF、XRD、XRR)、X線源、コンピュータ断層撮影、非破壊検査、熱分析の分野で世界をリードし、革新的技術を提供しています。

リガクは、X線物理学とその補完技術に関する幅広い理解を基盤として、構造生物学、ナノ工学研究、汎用X線回折(XRD)と分光(XRF)、材料分析、化学特性評価、品質保証など幅広い分野において、大学、産業、政府の研究所に究極の顧客志向の統合ソリューションを開発し提供するために、社員一丸となって邁進しています。



本件に関するお問い合わせ先

リガク・ホールディングス株式会社 広報宣伝課課長：内匠 優理香

prad@rigaku.co.jp

TEL：042-545-8190